

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、11～18℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり147kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり3.8トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。ケンサキイカは、壱岐勝本地区では1日当たり160kgの水揚げで、前週の3.3倍（前年並み）。五島奈留地区では、1日1統当たり3kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり1.7トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり93kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり211kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり117kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（3/4～3/9の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、切揚中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び隠岐諸島周辺～能登半島沖～酒田沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）3日延11隻、総計123箱、1航海最高36箱、平均11.2箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～40入り。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>